

**本説明会はアーカイブ配信用に録画いたします。予めご了承ください。**

**18時から開始しますので、もうしばらくお待ちください。**

大学発新産業創出基金事業  
スタートアップ・エコシステム共創プログラム  
拠点都市プラットフォーム共創支援

## みちのくGAPファンド 公募説明会資料

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム  
MASP(Michinoku Academia Startup Platform)



MICHINOKU  
ACADEMIA  
STARTUP  
PLATFORM

# I .みちのくアカデミア発スタートアップ共創 プラットフォーム(MASP : Michinoku Academia Startup Platform) について





### 東北大学が東北・新潟の大学・高専に知見・仕組みを横展開し、地域のスタートアップ・エコシステム形成に貢献

#### 2021/4 “東北地域 大学発ベンチャー共創プラットフォーム” (MASP前身組織) 設立

期間：2020～2021年度 【JST/SCORE事業】

- 「みちのくギャップファンド」 (2021年度公募)  
9大学参画

#### 2022/6 “みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)” 設立

期間：2022～2026年度 【JST/START事業】

- 「みちのくギャップファンド」 (2022年度公募)  
10大学参画
- アントレプレナーシップ人材育成
- 起業環境の整備
- スタートアップ・エコシステムの形成

#### 2024/1 拡大・新“MASP”として発足

期間：2023～2027年度【JST/大学発新産業創出基金事業】

- 「みちのくギャップファンド」(2024～2027年度公募)  
15大学・7高専、計22校が参画

#### みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)

MASP  
主幹・共同機関校

##### 青森 AOMORI

- 弘前大学
- 八戸工業高等専門学校

##### 岩手 IWATE

- 岩手大学
- 岩手県立大学
- 一関工業高等専門学校

##### 宮城 MIYAGI

- 東北大学
- 宮城大学
- 東北学院大学
- 仙台高等専門学校

##### 秋田 AKITA

- 秋田大学
- 秋田県立大学
- 秋田工業高等専門学校

##### 山形 YAMAGATA

- 山形大学
- 東北芸術工科大学
- 鶴岡工業高等専門学校

##### 新潟 NIIGATA

- 新潟大学
- 長岡技術科学大学
- 長岡工業高等専門学校

##### 福島 FUKUSHIMA

- 福島大学
- 会津大学
- 福島県立医科大学
- 福島工業高等専門学校



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
みちのくGAP ファンド	公募・審査		公募		審査 ★採択(GW前)											1~2月頃	2025年度公募開始	
	令和6(2024) 年度事業						事業期間										★ ★	デモデー
							ステップ2の次年度移行に係る中間評価 ◎											

※デモデー：仙台、東京で開催します。投資家・パートナーとのマッチング機会として、短時間でシーズ、事業計画等を紹介するプレゼン（ピッチ）を行って頂きます。

・令和6年度事業 公募期間:2024年1月29日(月)~**3月26日(火)17:00迄**

・ヒアリング審査会(予定)

2024年4月22日(月)~4月24日(水) 左記日程の1~2日予定

第1委員会(ライフサイエンス関連)、第2委員会(その他)

※日程の絞り込みや書面審査結果等が事務局から連絡あるまでは、申請者は予定を確保しておいてください。

・採択通知 4月中

・ギャップファンド・伴走支援(2024年度) 2024年6月頃~2025年3月末

・令和7年度事業公募、ステップ2中間評価、デモデイ 2025年1~3月頃

## Ⅱ. みちのくGAPファンド 公募概要 (公募要領よりポイントを抜粋)

※詳細は必ず公募要領で確認してください。





## 趣旨・目的

みちのくGAPファンドは、「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)」に主幹・共同機関として参画の大学・高専 (下記) の研究者・大学院生によるディープテックスタートアップ等の創出のための検証活動を支援するプログラムです。

採択者は、支援終了後の研究シーズを基にした起業に向けて、実施期間中、伴走型支援を受けながら、起業にあたって必要となる資本戦略、事業戦略、知財戦略等を学びつつ、Demo Day等においてVC (ベンチャーキャピタル) や事業会社とのマッチングの機会を得ることができます。

### ◆本公募に応募可能な対象校 (全22校)

東北大学、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、新潟大学、長岡技術科学大学、宮城大学、会津大学、東北芸術工科大学、秋田県立大学、岩手県立大学、東北学院大学、福島県立医科大学、八戸工業高等専門学校、秋田工業高等専門学校、一関工業高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校、仙台高等専門学校、長岡工業高等専門学校、福島工業高等専門学校



## ① 支援対象となる研究開発課題

- ・大学・高専発の研究シーズ（研究成果）を核にして事業化を目指す研究開発課題
- ・ステップ1（応用研究）、ステップ2（概念実証・スタートアップ組成）として適切な課題

### ◆各ステップの定義

#### ステップ1（応用研究）

基礎研究の成果について、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指します。

#### ステップ2（概念実証・スタートアップ組成）

前半ではビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC）を行い、起業にあたってクリアにすべき課題の解決を目指します（概念実証）

後半ではこれら取組に加え、大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベルに向けて、PoCを継続して実施します（スタートアップ組成）



## ②申請枠の種類と実施期間、支援金額、採択予定数

	ステップ1			ステップ2	
種類	通常枠	特別枠	人文・社会 科学枠	通常枠	特別枠
実施期間	1年（年度単位）			2～3年（年度単位）	
支援金額 （上限）	500万円	1,000万円	200万円	6,000万円	1億円
採択数 （予定）	20件	5件	5件	4件	1件

- ・通常枠と特別枠の併願可能（採択は片方のみ）
- ・ステップ1 → ステップ2 移行は次年度公募に応募（毎年2月頃、2027迄計4回公募）
- ・ステップ2は、2年または3年の実施計画。支援金額上限は実施期間中の合計額。  
1年目及び2年目の第4四半期実施の中間評価で次年度進級判断。
- ・研究代表者が学生（修士・博士課程）の場合は、ステップ1のみ応募可能。





## ③申請要件

(ア) 研究代表者、又は研究代表者が構成するチームであること。研究代表者は、令和6年4月1日 及び研究実施期間において、P6の機関の研究者、または大学院生(修士課程、博士課程修士課程、博士課程)であること。学部生は研究代表者とはなれないが、6年制課程の学部等の5年生・6年生のうち、研究室に配属されている学生は研究代表者となることが可能(学生の研究代表者応募はステップ1のみ)

(イ) 大学等の研究シーズを利用したスタートアップ企業の設立、事業化等により、大学等の研究成果の社会還元を目指していること。

(ウ) 研究シーズについて、本公募プログラムを通じて創出されるスタートアップ企業の実施に関してその研究シーズの発明者、研究シーズが帰属する機関等(特許出願人等)の同意が得られていること。



## ③申請要件

- (エ) MASPが目指すスタートアップ・エコシステムの形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意志を有すること。
- (オ) 本公募プログラムに採択された際には、**所属する研究室等が責任をもって本事業の予算管理を行うこと**（特に大学院生は指導教員の了解を得ておくこと）。
- (カ) **学生(修士課程、博士課程)が研究代表者**となる場合は、学生及び指導教員の双方が、以下の項目について確認したことを示す**確認書を申請時に提出**していただきます。
  - ・ 学生と所属機関の間で、研究成果として生じる知的財産権について取り決め、所属機関が合意したこと。



## ③申請要件

(キ) **ステップ2への申請**には以下の項目についても満たすこと。

- ・ **過年度に一定の成果**（過去のGAPファンドプログラム、またはそれに相当する活動の実績等）があること。（※1）

※1 過去GAPファンドプログラム（みちのくGAPファンド、東北大学BIP）で合計2回以上支援を受けている案件については、ステップ1からの申請はできません。必ずステップ2からの申請として下さい。

- ・ **MASPの認める事業化推進機関との共同申請**とし、当該事業化推進機関は適切なハズオン支援を行うこと。（※2）

※2 ステップ2の申請に当たっては、みちのくGAPファンド運営事務局（TUKC：東北大学ナレッジキャスト（株）内）になるべく早い段階（**2月26日（月）迄**を目途）に、次の申請パターンについてご相談下さい。



## 事業化推進機関

※現時点以下の3機関

### 東北大学ベンチャーパートナーズ(株) : THVP



東北大学発や東北圏域の国立大学発のスタートアップを投資対象としており、起業前の段階からのソーシング活動や、シード・アーリーからミドル・レイターまで一貫した投資を行い、ハンズオンの伴走支援を行っている。

### 東北大学ナレッジキャスト(株) : TUKC



ステップ2受付窓口／運営事務局

大学等の独創的な研究成果、技術情報、あるいは研究者の知見をコンサルティングサービスとして提供し、新しいビジネスや革新的な製品・サービス開発を直接的に支援する。特に医療機器分野に強みを有する。また、多数の投資家とのネットワークを有している。

### 東北大学共創イニシアティブ(株) : THCI



東北大学と三井住友信託銀行の共同出資会社（国立大学初）。新規事業創出、新たな市場開拓、様々なパートナーとの協業に強みを有するとともに、三井住友信託銀行の有する投資家や金融機関との強固なネットワーク、ファイナンス機能を活用できる



## 【ステップ2 申請の流れと申請パターン】

1. TUKC（事務局）において相談フォームにより申請前相談を受付（2/26迄を目途）
2. 以下(1)～(3)のパターンから事業化推進機関（TUKC、THVP、THCI）との共同申請方法を選択
  - (1) THVP・TUKCと共同申請  
THVPの出資・コンサル機能を活用したい方（TUKCはプロジェクトマネジメントのみ）  
※THVPが出資できるのは国立大学発のみ
  - (2) THCI・TUKCと共同申請  
THCIのコンサル機能・三井住友信託銀行グループのサポートを活用したい方（TUKCはプロジェクトマネジメントのみ）
  - (3) TUKCと共同申請
    - ①TUKCの医療機器コンサル機能を活用したい方
    - ②希望するVCキャピタリスト等がいる方
    - ③特に希望がなくVCキャピタリスト等を探している方
3. 共同申請する事業化推進機関と協議し、〆切（3/26）までに共同申請

注) TUKC：東北大学ナレッジキャスト株式会社、THVP：東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社

THCI：東北大学共創イニシアティブ株式会社

VCキャピタリスト等：VC、事業会社及びそれに属するベンチャーキャピタリスト



## ③申請要件

(ク) **特別枠及びステップ2への申請**には以下の項目についても満たすこと。

- ステップ1（特別枠）・ステップ2（通常枠及び特別枠）

- ・ **国際市場への展開**が大いに見込まれる案件であること。

(採択後には、各種海外展開アクセラレーションプログラム及び海外渡航プログラムへ積極的に参加して頂く必要があります。)

- ・ 研究開発・事業化に**多額の資金需要**が見込まれる案件であること（スタートアップ創出に向けた検証活動の加速のために多額の資金が必要不可欠であることを示す）。

- ステップ2（特別枠）

- ・ 申請時に単独特許を有し、または採択初年度に出願見込みであり、さらに周辺特許及び国際出願を予定する等、増額支援により社会実装の加速・スケール化が期待できる案件であること。

## ④共同研究

MASP内の各校間での共同研究が可能です。主たる研究機関に研究代表者、共同研究先機関では研究実施責任者（主たる共同研究者）を設定してください。



## ⑤ 申請方法

締切  
3/26  
(火)  
17:00

### 申請資料一式を事務局に提出

事務局指定クラウド上（xdriveを使用）にて申請資料一式をご提出願います。  
申請区分（ステップ1/ステップ2）によって提出物が異なりますのでご注意ください。

#### 【ステップ1】

- ①ワード申請書（様式1）※
- ②エクセル申請書（様式2）※
- ③パワーポイントプレゼン資料
- ④5分以内のプレゼン動画
- ⑤確認書（学生のみ）

#### 【ステップ2】

- ①ワード申請書（様式1及び4）※
- ②エクセル申請書（様式2）※
- ③パワーポイントプレゼン資料
- ④5分以内のプレゼン動画

※通常枠と特別枠を併願する場合

- ・②エクセル申請書（様式2）はそれぞれ提出して下さい。
- ・①様式1についても、要すれば必要項目については併記してください。

申請資料提出先：（HPからもリンクあり）

・ステップ1

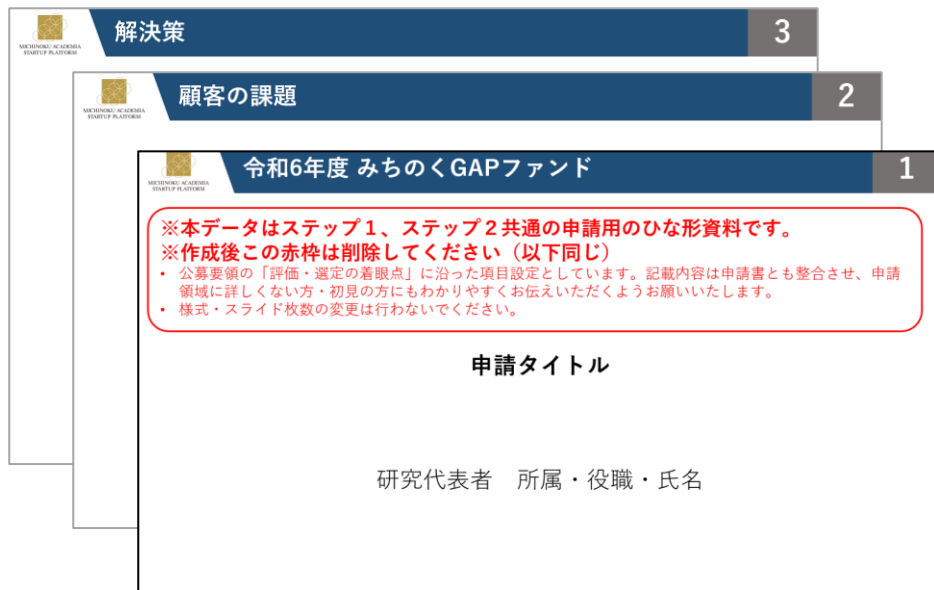
<https://xdrive.tohoku-kc.co.jp/index.php/s/kTrAjXJjAdzXYoA>

・ステップ2

<https://xdrive.tohoku-kc.co.jp/index.php/s/pcdNMaWe5LSk3QJ>



## 各種申請資料のひな形は公募HPよりダウンロードできます ↓ [https://michinoku-academia-startup.jp/news/r6gapfund\\_kobo/](https://michinoku-academia-startup.jp/news/r6gapfund_kobo/)



プレゼンプレート。

※ステップ2については、A～Gのほか「事業化推進機関等によるサポートのポイント」についてもプレゼン資料を用意頂きます。

記入要領、記入例は印刷して提出ください。☞

(様式1: 研究開発課題の概要) ☞  
図表等でポイントをおさえ、査読のしやすさに留意して作成。☞

スタートアップ・エコシステム共創プログラム (ステップ1、ステップ2 共通) ☞

**研究開発課題 申請書** ☞

年 月 日提出 ☞

1. 研究開発期間(予定) ☞  
西暦 2024 年 8 月 1 日～西暦 年 月 日 ☞  
※STEP1 は最長 2025 年 3 月 31 日、STEP2 は最長 2027 年 3 月 31 日までとすること。☞

2. 申請課題名称 ☞  
(課題名称記入及び申請枠にチェックして下さい) ☞

STEP1 (□通常枠、□人文・社会科学枠、□特別枠)    STEP2 (□通常枠、□特別枠) ☞  
※通常枠・特別枠を併願する場合、本様式で要する項目については併記してください。☞

3. 連絡先情報 ☞  
(1) 事業化推進機関 (ステップ2のみ) : ☞

機関名: ☞  
担当者所属: \_\_\_\_\_ 担当者役職: ☞  
担当者氏名: \_\_\_\_\_ フリガナ: ☞  
電話: \_\_\_\_\_ E-mail: ☞

(2) 研究代表者: ☞  
氏名: \_\_\_\_\_ フリガナ: ☞  
生年月日: 西暦 年 月 日 ( 歳) ☞  
所属機関: ☞  
部署: \_\_\_\_\_ 役職: ☞  
住所: 〒 ☞  
電話: \_\_\_\_\_ E-mail: ☞

所定の e-learning の実施確認欄 (受講した場合チェック) ☞

(3) 研究機関担当者 (産連本部等の起業支援人材) : ☞

氏名: \_\_\_\_\_ フリガナ: ☞  
所属機関: ☞  
部署: \_\_\_\_\_ 役職: ☞  
住所: 〒 ☞  
電話: \_\_\_\_\_ E-mail: ☞

※産学連携本部等、大学として本課題を支援して頂く担当者 (本プログラムでは起業支援人材等を想定) を記入してください。なお、現時点で特定できない場合は、各校の本PG 担当者をご相談の上、各校 PG 担当者名もしくは未定をご記入下さい。☞

1 ☞

様式1、2、4はJSTひな形で、様式3は欠番です。





## 5分以内のプレゼン動画について

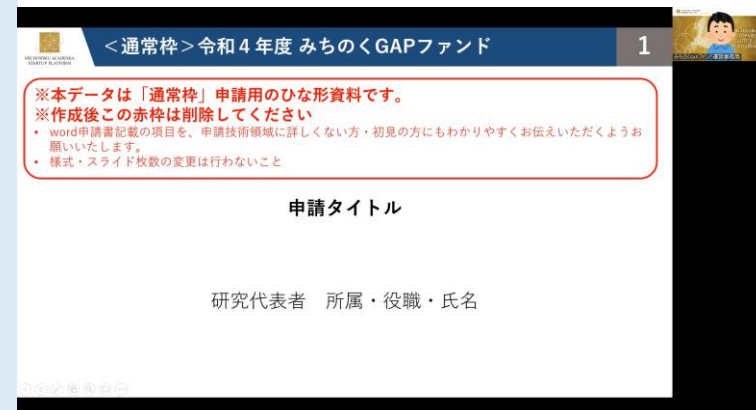
- プレゼン動画は所定のパワーポイント資料を使用し、「日本語」にて5分以内で発表撮影したものを送ってください。
- プレゼン動画の撮影/録画方法の指定はありませんが、Zoomなどの録画機能を使用することを推奨します。
- 一般的に5分の発表だとすると、日本語では原稿用紙5枚未満1300-1600字程度とされています。各ページ30秒～1分以内で話すイメージです。

### 【Zoomを用いたプレゼン動画作成方法】

- ① Zoomにサインインし、「新規ミーティング」を開く
- ② 「画面の共有」から予め開いておいたプレゼン資料を選択する
- ③ 「詳細」ボタンから、「このコンピュータにレコーディング」を選択し、発表開始
- ④ 発表終了後、「レコーディングを停止」を選択
- ⑤ Zoomを閉じると自動的にMP4ファイルがダウンロードされます

※Zoom以外の方法でも構いません

### 完成イメージ（参考）





# e-learningプログラム

申請検討中の方は、  
早めにお申し込みください！

申し込み

締切

3/19(火)

正午

## e-learningプログラム受講申し込み

本公募に申請しようとする研究代表者の方は、以下のフォームに必要事項を記載のうえ、e-learningを受講してください。

※申請(3/26)までに必ず受講すること。

受講申し込みフォーム：

<https://forms.gle/4fRjfWjqkwmT9tgj7>

- 必修科目15講座の所要時間は約1時間です。
- 申請時までには必修科目15講座及びオプションから2講座以上の受講が必須です。

受講完了後、申請書の様式1において所定の受講済み確認欄にチェックを入れて下さい。(必要に応じて事務局でログをチェックします)



## ※留意事項

- 達成目標とマイルストーン設定について

様式1においては、プログラムにおける課題終了時の達成目標を定め、そのための事業化および研究開発マイルストーンを設定頂きます。達成目標及びマイルストンの設定にあたっては別紙の「(参考) STEP別マイルストーン設定」を参照してください。当該**達成目標及びマイルストンの妥当性は評価の重要な項目の一つ**となります。

なお、STEP2のマイルストンの事業期間中のピボット(方針変更)は、審査委員会等で合理性が認められれば可能です。

- 重複応募の制限

同一申請者はJSTの各種制度との重複申請には制限があります(公募要領参照)。またJST制度以外の他組織による支援制度等も含め、競争的研究費の不合理な重複・過度の集中は避けるようご留意ください。場合によっては、JSTからの指導に基づき、選考対象からの除外、採択の決定の取消し、又は経費の削減を行うことがあります



申請書に基づき、事業化移行で重要とみられる、以下の8つの項目について書面審査員・審査員が評価し、採択候補を選定します。審査は、**書面審査及び審査会※**を通じて総合的に判断されます。各項目（A～G）の説明は公募要領又はプレゼンプレートでご確認下さい。

(A) 顧客の課題 (B) 解決策 (C) シーズ (D) マーケット  
(E) ビジネスモデル (F) チーム (G) 計画 (H) 研究開発費

## ※審査会

書面選定を通過したステップ1の当落線上の案件およびステップ2の案件が対象です。対象者は対応必須（オンライン）であり、全申請者は事務局より書面審査結果の連絡（4/18頃）があるまでは、**日程（4/22-24）の確保**をお願いします。

上記評価に加え、下記のとおり審査を通じて総合的に判断されます。

- ・研究開発課題が大学の研究成果の社会実装を進め、新産業・新規事業領域の開拓に貢献できるものか
- ・実施内容と想定される事業が、大学が関与する事業として相応しいものであるか
- ・プロジェクトに参画する者と関係者との利益相反に関して適切に整理されているか



1/29 (月) ~3/26 (水)	公募期間
<b>2月26日 (月) 迄を目途</b>	ステップ2申請の事務局相談
<b>3月19日 (火) 正午 締切</b>	e-learningプログラム受講申請
<b>3月26日 (木) 17:00 締切</b>	公募締切(e-learning受講完了)
<b>※4/18頃迄に書面審査 ~4月上旬 結果と審査会への対応 要否を連絡</b>	書面審査
<b>4月22日 (月)※左記の1~2日 4月23日 (火) 対象者は対応必須 4月24日 (水) 要日程確保</b>	審査会 (オンライン)
<b>4/24-25頃</b>	採否結果通知
<b>~5月中旬</b>	研究開始に向けた手続き書類の作成
<b>6月頃~</b>	本プログラム (事業) 開始



## MASP Business Incubation Program

### キックオフ

- ・キックオフ会議
- ・支援内容ブリーフィング
- ・起業家・VC等講演

### セミナー・WS

- ・事業化に向けた基礎教養
- ・領域別勉強会、WS
- ・エフェクチュエーション

### チームビルド

- ・経営者候補マッチング
- ・採用要件設定相談

### 商談マッチング

- ・大企業/VC等との商談
- ・展示/商談会への出展

### メンタリング

- ・事業化に向けた壁打ち指導
- ・ピッチ/資料作成指導

### コミュニティ

- ・MASPコミュニティ
- ・アルムナイ

### 国際展開

- ・海外展示会への出展
- ・海外投資家等へのピッチ
- ・専門家個別相談

### 知財戦略

- ・知財相談窓口
- ・特許申請

### 資金調達

- ・VC等との面談機会
- ・資本政策

### 支援体制・マイルストーン管理

- ・各大学起業支援人材、事業化推進機関、知財担当、URAなどによる支援体制を整備
- ・定期モニタリングシステムによるマイルストーン達成状況の確認

### 東北大学版BIP連携

- ・東北大学が官民イノベーションプログラムで培ったノウハウを広域展開

### スタートアップ・エコシステム連携

- ・自治体や企業等による各種プログラムとのシームレスな連携
- ・地域内外のエコシステム関係者同士の知見・ノウハウの共有



# お問い合わせ先

みちのくGAPファンド運営事務局

(東北大学ナレッジキャスト株式会社内)

<https://forms.gle/EBCi4Xe5vii9S9yX7>

## STEP0

## STEP1

## STEP2

フェーズ

準備～申請

応用研究  
(採択後～初期検証)

概念実証～スタートアップ組成

到達目標  
レベル

- 【原則】
- 技術の実装に終始するのではなく、スタートアップとして大きな社会的インパクトを与えうる事業アイデアの一案がある
- 【理想】
- 2, 3件は想定ユーザーにヒアリングを済ませ、存在しないに挑むことがない状態となっている
  - 一緒に案件を推進できる協力者の候補が最低1名特定できている

- 【原則】
- 自分たちの注力すべきユーザー層の特定・そのユーザーの抱えている課題について、20件以上ヒアリングを終了し、具体性高く語るができる
  - ユーザーの課題に対して、技術の機能ではなく提供価値の次元で最適なものを特定し、語るができる
  - 案件の協力推進者として1名・1社コミットしてもらう状態にある
  - PSF (Problem Solution Fit) までを目指す
- 【理想】
- モックやプロトタイプが作成済みで、想定ユーザーへの検証をはじめており、LOIを複数件受領している(=完成後すぐ買うユーザーがいる状態)

- 【原則】
- モックやプロトタイプが作成済みで、想定ユーザーへの検証をはじめており、LOIを複数件受領している(=できたらすぐ買うユーザーがいる状態)
  - 創業メンバーと目指す会社像・事業内容について具体的に共通理解が図れている
- 【理想】
- 資金付きの外部アクセラレーター等に採択され、支援者のネットワークを広く拡大している
  - CEO候補を中心にVCとも複数件面談済み
  - PMF (Product Market Fit) を目指す

事業開発

- 年間最低でも数十億円規模のマーケット、もしくはグローバルにインパクトを与えうるような事業アイデアを保持している
- 技術としてではなく、スタートアップとして何をやるべきか、そのスタートアップが社会にどういったインパクトを与えるのか検討できている
- 検証を開始してからどういった先にヒアリングをすべきか数社・数件はあたりがついている

- 想定ユーザーおよび業界専門家を含めてヒアリングを20件は最低行なっている
- ヒアリングの結果、想定ユーザーの最も困っている課題の5W1Hを明確に記述できる
- その課題に対して、どのようなプロダクト・サービスであるべきか、明確な像を結んでいる
- すでにその課題に対してアタックしている企業があれば、事業概要について把握済み
- 外部ピッチに複数件参加し、外部からのフィードバックを複数件もらっている

- モックやプロトタイプについて最初期verを作成済
- 想定ユーザーへの検証を実施済み・中である
- 想定ユーザーからのLOI/MOUを複数件受領している

技術開発

- 【スタートアップとしてなにをやるか・どこまでに何をスタートアップとして検証すべきか、に基づき】
- 最終到達地点から必要な研究開発および製品としての開発における暫定計画が中長期で定まっている
  - その計画が最初の検証期間一年での具体的なアクションにブレークダウンされている

- ユーザーとの相互作用に基づいて、その課題を解決するのに必要なスベックの検討が済んでいる
- その要素技術の中でコア技術に関しては基本特許の検討が済んでいる
- 事業アイデアに基づいて、特許戦略の検討が済んでいる
- (理想的に)基本特許については申請も済んでいる

- 最初期プロトタイプを踏まえて、必要な技術開発について暫定的な計画が立っている
- 会社化・調達を見据えた開発計画についても立案済
- 基本特許について取得済み

チーム  
アップ

- 自大学の産学連携の担当支援者と申請内容に関して最低一度は相談済み
- 可能な限り、外部の人材も活用して申請内容について一度議論をしている
- 自研究室の卒業生、学会の知り合い等協力者を求める連絡をはじめている

- 協力者を探すための外部イベントに複数件参加済み(既にいる場合は)メンターを通じて事業開発側の人材を探索済み
- 自分の周りの人的ネットワークを活用して、事業側の協力者を最低1名は確保している

- 本格的なプロトタイプ開発サイクルを回すためのエンジニアリング協力者についても複数名確保できている
- CEO就任者が確定している
- 弁護士等、相談が可能な専門家へのネットワークを保持している/問題に対してどこに相談すればいいかチャネルを把握している





- ✓ 研究者・学生向け事業化相談会
- ✓ 会場：東北大学青葉山キャンパス ※オンライン可
- ✓ 開催日：2024年2月6日(火) 13-18時
- ✓ 5スロット×3名 (ANRIキャピタリスト) = 15枠で実施予定

2/6開催

研究成果の社会実装としてスタートアップ起業を検討されている方に向けて、個別メンタリングを行います。初期のアイデア段階から本格的な相談までお気軽に相談いただけます。



## 【概要】

研究者の方の心理的ハードルを低く、起業に関する相談ができる場を提供します。独立系ベンチャーキャピタルANRIから、3名のキャピタリストをお招きし、事業案を踏まえ、お困りごとの相談、事業についてFBやアドバイスをさせていただきます。

- ▶ 事業案&技術についてお話いただく(15min)
- ▶ Q&A形式で先生の聞きたい点を聞いていただく(35min)

## 【対象者】

- ・初期的な事業化の相談相手がほしい方
- ・起業準備中orGAPファンド検討中の研究者の方(起業直後も含む)
- ・事業化のプロセスについてもっと知りたいとお考えの方
- ・研究開発型スタートアップの創業を予定しているが、事業成長について学びたいとお考えの方

独立系ベンチャーキャピタルANRI(本社:東京都港区、代表パートナー:佐保アンリ、以下「ANRI」は、「未来を創ろう、圧倒的な未来を」をビジョンに掲げ、創業間もない起業家と共に事業の成長をサポートし、挑戦し続けております。



- ✓ 研究者・学生向け事業化相談会
- ✓ 会場：東北大学青葉山キャンパス **※オンライン可**
- ✓ 開催日：**2024年2月6日（火）13-18時**
- ✓ 5スロット×3名（ANRIキャピタリスト）= 15枠で実施予定



### 川口 りほ 様

東京大学工学系研究科航空宇宙工学専攻で博士号(工学)を取得。2020年にANRIにインターンとして参画後、2023年ANRIに正式に入社。インターンをする中で、起業家や研究者を支えることの意義や、新しい技術や市場を発見し、開拓することの楽しさを知り、VCとしてのキャリアを進むことを決意。VCの仕事を通して「アカデミアの研究と社会実装の溝」を埋め、研究者が輝き、挑戦し続けられる社会にしたい。

注力領域:航空宇宙、ロボティクス、AI、フェムテック



### 榊原 和洋 様

東京大学理学部卒業、同大学院で生物化学分野にて博士号取得。日本学術振興会特別研究員DC2。在学中は生殖組織におけるRNAサイレンシングの分子機構解明に従事。エムスリー株式会社で製薬企業の営業・マーケティングのDX化、CVC業務に従事した後、2022年8月にANRIに参画。

注力領域:バイオテック、医療機器



### 土本 晃久 様

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻にて博士号を取得。2020年より日本学術振興会特別研究員DC1。在学中はリチウムイオン電池に関する研究を行い、希少金属を使用しないサステナブルな電極材料の開発に注力した。インターンを経て2023年より新卒としてANRIに入社。VC投資を通じて魅力的なディープテック企業を増やし、人材と資金に良い循環を産み出したい。

注力領域:エネルギー、素材、AI、脱酸素

申込フォームはこちらから<https://forms.gle/DqJNceGs2Li6tPNF9>

**2/6開催・残1枠先着順**





## GAPファンドへのお申込み前の疑問解消や壁打ち、 お申込み後のブラッシュアップにお使いください

### JAFCOのシーズ相談窓口とは？

- 技術シーズの社会実装に関する疑問・不安の解決をお手伝いするプログラム
- VCの支援内容や株に関するQA、ビジネスアイディアの壁打ちが可能

### 利用の流れは？

- お申込みWebサイトから希望日時や氏名、メールアドレスを入力ください
- 発行されるZoom URLに希望日時に参加ください
- 30分間、JAFCO投資部のメンバーがQAや壁打ちに対応させていただきます



本プログラムへのお申込み・詳細の確認はこちら ↓ ↓ ↓

**申込開始**

<https://lp.jafcoacis.com/>



**注意！ANRI、JAFCOへの相談は、GAPファンド応募に向けた大学発起業やシーズの事業化の相談です。今回の“公募”そのものに係るお問い合わせは事務局の方へお願いします。**